

日本学術会議 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会（第26期・第2回）

議事要旨

日 時： 令和6年11月11日（月） 16:30～18:30

場 所： 日本学術会議 Web 会議

出席者： 青柳みどり，岩崎誠，~~岩船由美子~~，大崎博之（委員長），北裕幸（幹事），熊田亜紀子
~~佐藤育子~~，竹内敏恵，柘植隆宏，長谷川浩巳，藤崎泰正，藤本博志，
村上俊之（副委員長），安田恵一郎（幹事），山中直明
（50音順，敬称略，欠席者は取消線）

議 事：

議事に先立ち，熊田委員，藤本委員，長谷川委員によって自己紹介が行われた．

1) 前回議事要旨の確認 （資料1）

大崎委員長から，前回分科会の議事要旨について説明があり，内容を確認した．

2) 話題提供1（資料2）

藤崎委員から，資料2に基づき「データ駆動型制御」に関する話題提供が行われた．データ駆動型制御の代表的な定式化と設計手法として，データベース制御，Virtual Reference Feedback Tuning (VRFT)，Linear Matrix Inequality (LMI) に基づくデータ駆動型設計等についてご紹介いただいた後，意見交換が行われた．

3) 話題提供2（資料3）

村上委員から，資料3に基づき「ロボット利用の現状と省電力化」に関する話題提供が行われた．ロボット応用における力制御の重要性と共に，動作の省エネ・効率化等についてご紹介いただいた後，意見交換が行われた．

4) 話題提供3（資料4）

熊田委員から資料4に基づき，「次世代電力グリッドの構成機器に関係する技術課題 -SF6代替ガス探索-」に関する話題提供が行われた．SF6代替ガス探索の最新動向や機械学習を用いた絶縁ガスの探索に関する研究等についてご紹介いただいた後，意見交換が行われた．

5) その他（資料5～7）

①大崎委員長から資料5に基づき，8月から現時点までの制御・パワー工学分科会に関わる活動状況について報告が行われた．

②大崎委員長から資料6に基づき，前回分科会以後に制御・パワー工学分科会が提出した活動報告の内容について説明が行われた．併せて，分科会としての意思の表出は，公開シンポジウムの開催を第一候補として考えているが，今後の分科会で相談したい旨の説明があった．

③大崎委員長から資料7に基づき，10月23日(水)に開催された第26期第8回電気電子工学委員会の議事内容等について報告が行われた．併せて，大崎委員長が電気電子工学委員会の幹事に就任したことが報告された．

次回委員会：2025年2月～3月を予定（2時間程度，オンライン）．議事内容：委員からの話題提供に基づく意見交換，等．

以 上

<配布資料>

資料0：議事次第（第26期・第2回）

資料1：日本学術会議 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会（第26期・第1回）
議事要旨

資料2：藤崎委員からの話題提供資料

資料3：村上委員からの話題提供資料

資料4：熊田委員からの話題提供資料

資料5：活動報告概要

資料6：制御・パワー工学分科会活動報告

資料7：電気電子工学委員会報告

参考資料1：制御・パワー工学分科会設置提案書（第26期）

参考資料2：制御・パワー工学分科会構成員名簿（2024年8月1日現在）

参考資料3：第三部会（第26期・第3回）議事要旨